

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 6年 5月 17日

部局等名	福祉部	課かい名	地域福祉課	推進責任者氏名	瀧田 美穂
------	-----	------	-------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	PC等待機電力の削減については、わずかな離席時なども含め、職員一人一人が高い意識を持って徹底するとともに、実践されていない職員に対しての注意喚起を行った。また電動自転車の積極的な利用を行った。
	具体的内容	様々なエネルギーコスト上昇の中、待機電力削減や共用自転車の積極的な活用など職員一人一人が高い意識を持って行動する。	
2	取組項目	C. 廃棄物の削減	プラごみ用のごみ箱を分かりやすく作り変えることで、適正な分別排出を実施した。事務用品については、課レベルでの在庫管理と共有化、再利用を継続するとともに、購入物品については必要最低限とした。
	具体的内容	ごみの分別を徹底するとともに、事務用品の適切な在庫管理と共有化、空き封筒の再利用等を促進する。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	紙での報告書の作成やメモ書きに代え、電子データやロゴチャットの活用により、電子での情報共有を積極的に行った。
	具体的内容	積極的な資料の電子化や共有を図り、紙資料は必要最低限とする。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

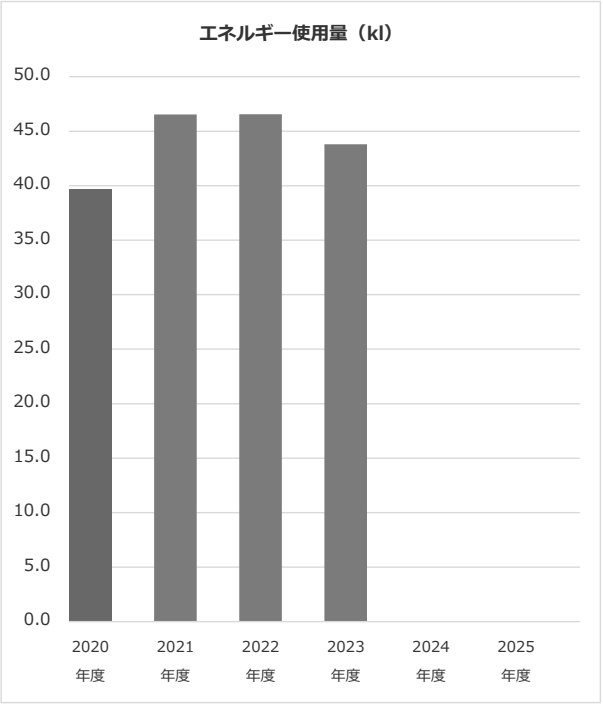
実績	前年度比	-5.9 %	達成状況	■ 未達成
達成/未達成の理由	農協ビルにおいて、夏季にエアコン故障があったため、使用料の削減が省エネに取り組んだ成果とは必ずしも言えないが、引き続き省エネに取り組んでいく。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	1537.0	1804.0	1804.7	1697.4		
エネルギー使用量(kl)	39.7	46.5	46.6	43.8	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	17.4%	0.0%	-5.9%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	平和の礎	計画	適宜照明器具の設置状況を確認する。
		実績	適宜照明器具の設置状況を確認した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	ロゴチャットにて、庁内研修資料に研修当日の説明内容を付したうえで、当年度の重点取組項目である「エネルギー使用量の削減」を各自確認することとし、課員への取組の周知徹底を図った。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されている		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月17日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
電気自転車の利用をすることで、公用車利用削減が積極的なロゴチャットの活用により、メモや資料の共有が電子化され、紙資料の削減につながっていると思います。また、課員の意識も高く、不適切なゴミ捨てがあった際には、注意喚起を随時行い、適正分別の推進及び廃棄物の削減にもつながりました。	それぞれの取組が、着実に効果を生んでいると考えますが、個々の取組を見ていると、個人差があると感じる部分もあるため、職員各々が意識を高く持って行動するよう職員同士で意識啓発します。また、ガソリン等高騰の折、相談者への訪問や地域での会議・活動支援等への交通手段として、積極的な自転車利用を継続していきます。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月21日

部局等名	福祉部	課かい名	保険年金課	推進責任者氏名	前田 敦子
------	-----	------	-------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	クールビズ及びウォームビズに対応した服装の推進は図れた。 ノー残業デーの実行、時間外勤務時間の削減することによりPC等待機電力の削減に繋がった。わずかな離席時なども含め、職員一人一人が高い意識を持って徹底するとともに、実践されていない職員に対しての注意喚起を行った。
	具体的内容	クールビズ及びウォームビズに対応した服装の推進、ノー残業デーの実行、時間外勤務時間の削減により空調、照明、PC等の使用を縮減する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	紙での報告書の作成やメモ書きに代え、電子データやロゴチャットの活用により、電子での情報共有を積極的に行った。
	具体的内容	会議資料及び事務手続きの簡略化により、連絡事項におけるロゴチャットの活用、e-kanagawa電子申請及びRPAの導入等による電子化の推進によりペーパーレス化を図る。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	ゴミを集積する際に、分別が誤って入っていたものは取り除き、適切な場所に廃棄した。事務用品については、課レベルでの在庫管理と共有化、再利用を継続するとともに、購入物品については必要最低限とした。
	具体的内容	マイボトルやマイカトラリーの使用、クリアファイル等の事務用品の繰り返し使用により廃棄物を縮減する。また計画的な物品購入及び適切な在庫管理を行うとともにトナーカートリッジやFAX等は廃棄せず、業者への回収依頼を行うことによりリサイクルを推進します。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

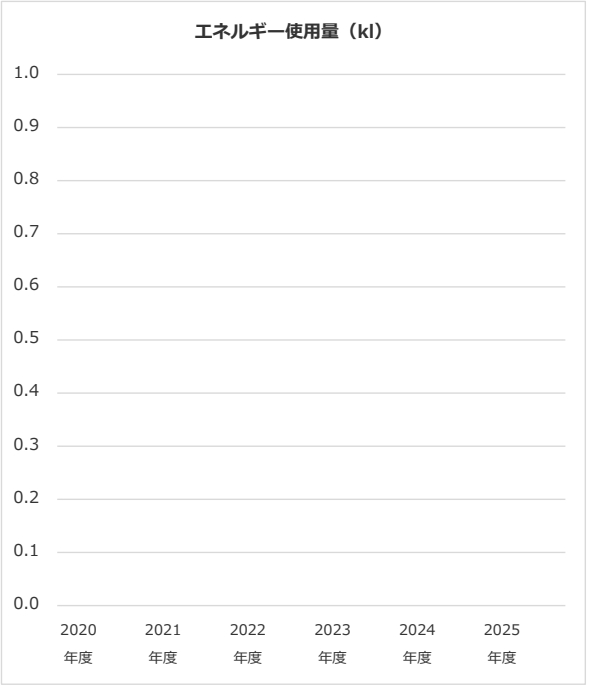
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	令和5年6月1日(木)の部長会議報告時にて研修会実施済み(対象者68名中(職員41名、会計年度任用職員27名)9名参加(課長及び課長補佐8名))。令和5年度重点取組項目の確認を行うとともに、課内の取組目標および具体的な取組内容について共有した。また同日、研修内容についてロゴチャットを活用し4月1日転入者を含む全職員へ周知した。また会計年度任用職員などロゴチャットが使用できない職員については研修資料を回覧することにより周知した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和6年5月21日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
今年度については重点取組項目である「エネルギー使用量の削減」を中心に取り組み、クールビズ及びウォームビズに対応した服装の推進しました。 また、ロゴチャットおよび電子メールの活用、会議資料の簡略化およびミスプリ防止を徹底することにより紙の使用量を削減し、「資源の有効利用」にも取り組みのほか、マイボトルやマイカトラリーの使用、クリアファイル等の事務用品の繰り返し使用による「廃棄物の削減」にも取り組みました。	取組目標に対し一定の効果は出ておりますが、引き続き、環境活動や取組目標に関する職員の意識向上を目指したいと考えております。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月22日

部局等名	福祉部	課かい名	生活支援課	推進責任者氏名	多賀谷 悦子
------	-----	------	-------	---------	--------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	訪問及び調査時の徒歩・自転車・公共交通機関の利用を可能な限り徹底した。しかし、今年度よりコロナ禍の特例対応が終了し、訪問件数が前年比で激増したこと、生活保護新規申請者が前年比で4割以上増加したことなどにより、ガソリン使用量は前年より3割ほど増加となった。
	具体的内容	訪問及び調査時の徒歩及び自転車・公共交通機関利用の推進	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	ノー残業デーの徹底および計画的な年休取得について毎月の課内会議等で繰り返し周知した。 生活支援課職員の平均年休取得日数は約16日となり、月1回取得の目標を達成した。
	具体的内容	電力削減を目的にしたノー残業デーの徹底と年次休暇の月1回の取得推進	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	裏紙の活用など、事務用品の管理と再利用を徹底した。 執務室内のごみ箱を前年度の3分の1に削減した。それに伴い、ごみ排出量の削減を達成することができた。
	具体的内容	事務用品の計画的な管理と再利用を図る。 また、執務室内のごみ排出量削減のため、ごみ箱の削減を図る。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

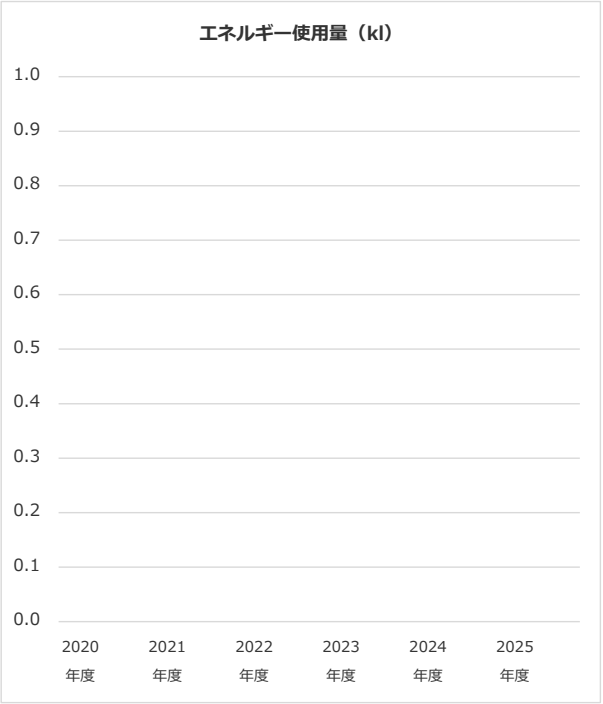
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、生活支援課取組目標の共有を図った。（実施日：4月30日）
法令遵守確認研修	■ 該当なし	所管施設無しのため
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☐ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和6年5月22日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
コロナ禍の特例対応終了により、遠方の施設への訪問機会が急増、生活保護新規申請の大幅増加もあり、ガソリン使用量は前年比増となったが、自動車以外の交通手段の積極活用により業務量の増加に比較するとガソリン使用量の増加は抑えることができた。	時間外勤務の一層の削減や計画的な年次休暇の取得に向けて、事務改善や業務のシェアなどの取り組みを行う。また、会議資料の電子化や削減のみならず、会議時間の短縮などによるエネルギー使用量の削減を実施していきたい。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月28日

部局等名	福祉部	課かい名	障がい福祉課	推進責任者氏名	鈴木 朗
------	-----	------	--------	---------	------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	月2回(毎月第1金曜日及び給料日)のノー残業デーを徹底しました。手話講習会(夜間)や会議等が重なった場合は、できる限り直近の勤務日にノー残業デーを個別に設けました。
	具体的内容	ノー残業デーの実効を徹底します。(月2日に追加)	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	毎月1回実施する課内会議において、できる限りペーパーレス化を図りました。印刷部数を必要最小限にするよう努めました。
	具体的内容	紙での提供の必要性や必要部数等を精査し、ペーパーレス化を推進するとともに、印刷は必要最小限にとどめます。	
3	取組項目	C. 廃棄物の削減	廃棄物の分別の徹底を図りました。廃棄物の削減のため、執務室内のゴミ箱の削減、持ち込みごみの持ち帰りを推進しました。ゴム印やインク類の共有化を図りました。
	具体的内容	廃棄物の分別を徹底するとともに、事務用品の共有化・再利用を図ります。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

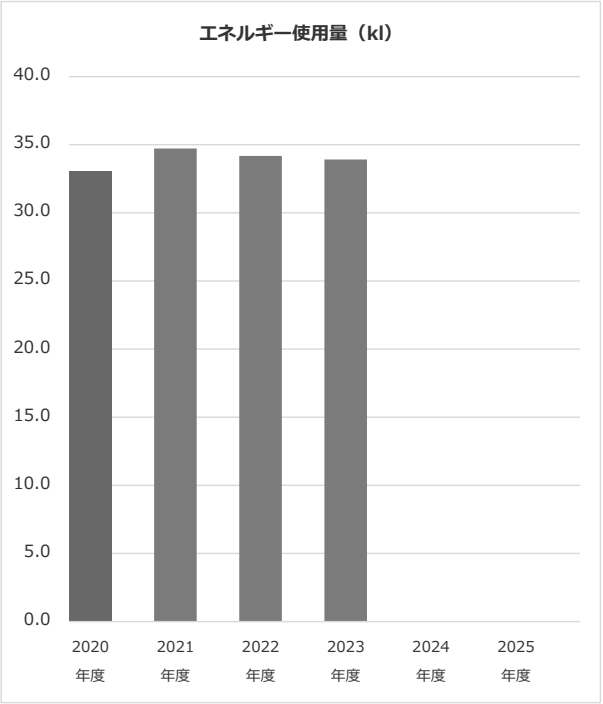
実績	前年度比	-1.6% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	節電等に積極的に取り組んだため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	1281.0	1346.0	1325.0	1315.0		
エネルギー使用量(kl)	33.0	34.7	34.2	33.9	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	5.1%	-1.6%	-0.8%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	つつじ学園	計画	指定管理者へ空調、照明等の省エネルギー化への取組を依頼する。
		実績	適切な使用を実施。
2	ふれあい活動ホーム赤羽根	計画	照明機器の更新(作業室・食堂・厨房)
		実績	作業室、食堂、相談室の照明機器の更新を実施。
3	生きがい会館	計画	照明機器の更新(会議室)
		実績	作業室の照明機器の更新を実施。



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月15日（木）の課内会議にて実施
法令遵守確認研修	■ 実施	指定管理者（法人本部）が各施設に対して実施
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	（選択してください）	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【推進責任者による評価】

記入日 令和6年5月28日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
目標は概ね達成していると考えます。ノー残業デーの徹底については、業務の都合上どうしてもその日限定での実施が困難な場合があることから、別日での対応等を徹底しました。 資源の有効利用、廃棄物の削減については、一人ひとりが意識しながら業務を遂行しています。	ノー残業デーの徹底に関しては、非常に多忙な部署であるからこそ、エネルギー使用量の削減の他、職員の健康管理にも大きく影響することから、引き続き徹底に努めます。 ごみを減らす取組についても、課内研修において詳しい職員を講師にした日本のゴミ問題に関するOJTを実施し、意識の向上に努めましたが、引き続き機を捉えてこのような機会を設けるよう努めます。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月 24日

部局等名	福祉部	課かい名	高齢福祉課	推進責任者 氏名	松尾 由香
------	-----	------	-------	-------------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	外出時や昼休憩時にはスリープ機能を活用するよう心掛けた。コピー機は未使用時及び使用後には節電ボタンを押し、エネルギー使用量の削減に努めた。今後も声掛け等により課内での取組の徹底を図る必要がある。
	具体的内容	長時間離席するときは、パソコンのスリープ機能の活用を徹底し、コピー機の使用後は節電ボタンを押します。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	課内においてエコドライブの周知を行い、所属職員一人ひとりが走行ルートの合理化や加速・減速の少ない運転を心掛け、エネルギー使用量の削減に努めた。
	具体的内容	公用車を使用する際は、走行ルートの合理化を考え、効率的利用を図ります。また、加速・減速の少ない運転を心掛けます。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	回覧文書について、可能な限りチャット等を活用したデータでの共有を図り、印刷やコピーを必要最低限とした。また、打合せ資料等について、データでの共有のほか裏紙を活用するなど、ペーパーレス化を図った。
	具体的内容	回覧文書等は積極的にPDFでの共有を行い、ペーパーレス化を図り、資源の有効活用を行います。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

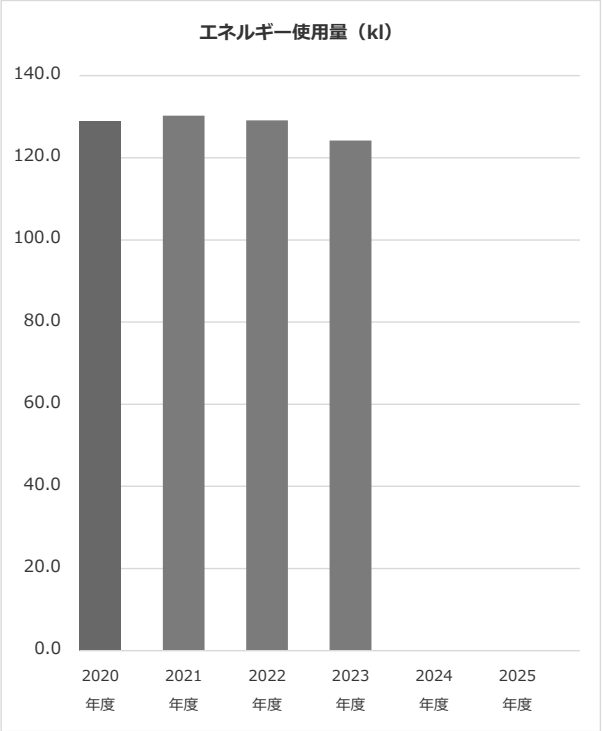
実績	前年度比	-3.8% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	取組として計画していた利用者への協力の依頼や、空調フィルターの清掃、研修の実施について、計画どおり実施し、施設の節電努力により、前年度より使用量を減少することができたため			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	4992.5	5047.7	5004.7	4815.0		
エネルギー使用量(kl)	128.8	130.2	129.1	124.2	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	1.1%	-0.9%	-3.8%	-100.0%	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	老人憩の家	計画	グリーンカーテンの育成により建物の温度上昇の抑制を図り、窓の開閉、カーテンやブラインドの活用等により室温を適正に管理することで、空調の使用量を抑制する。
		実績	可能な施設はグリーンカーテンの育成を行った。また、カーテン等を活用し室温管理を適正に行った。
2	ケアセンター	計画	エアコンフィルターの清掃(月一)により消費エネルギーの抑制を図る。
		実績	エアコンフィルターの清掃(月一)を行った。
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月6日に実施（対象者24名中約19名参加。欠席者には別途決定事項の周知を実施）。C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について説明し、課内における取組目標及び具体的な取組を検討するための情報共有を行った。
法令遵守確認研修	■ 実施	産業廃棄物の適切な処理について、県の資料を元に担当内と指定管理者へ周知を行った。
新任・異動者研修	■ 該当なし	
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☒ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 6年 5月 24日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エネルギー使用量の削減のため、課内において長時間離席時のパソコンのスリープ機能の活用やコピー機使用後は節電ボタンを押すなどの取り組みを行った。また、公用車の運転時には加速・減速の少ないエコドライブを心掛けた。チャットを活用し、回覧文書のペーパーレス化を図ったほか、打合せ資料等の印刷部数は必要最低限とした。また、所管施設において利用者への協力依頼や空調フィルターの清掃等、施設の節電努力により、前年度より使用量を減少することができた。	課内において、取組項目に対して多くの職員が積極的に取り組んでいた。今後は、好事例の共有や周知・声掛けの強化を行うことで、課内全体で良好な取り組みの浸透を図る。また、引き続き所管施設に対してC-EMSに関する取り組みについての周知や要請をしていく。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和6年5月17日

部局等名	福祉部	課かい名	介護保険課	推進責任者氏名	大川 寿之
------	-----	------	-------	---------	-------

(1) 目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	A. エネルギー使用量の削減	離席時にパソコンモニターをOFFにするとともに、複写機は未使用時には節電モードへの切替を行いました。 また、各担当の最終退出者はパソコンおよびプリンターの電源が切られているかの確認を行うとともに、執務室内の消灯を徹底しました。 今後も職員同士で声掛けをするなどして意識して行動していく必要があります。
	具体的内容	昼休憩や会議などで離席する際はパソコンモニターをOFFにするとともに、複写機は未使用時は節電モードに切り替えます。 また、各担当の最終退出者はパソコンの電源切り忘れがないか確認するとともに、複写機やプリンターの電源切り忘れにも注意します。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	資料はなるべく電子データで共有するよう心掛けました。 また、課内で情報共有を行う際にはロゴチャットおよび庁内メールを積極的に活用し、紙による回覧は必要最小限としました。 会議室等で打合せする際は紙の資料が必要となりますが、資料数は必要最小限とするよう心掛けました。
	具体的内容	資料をPDF化して共有することで、ペーパーレス化の取組を推進します。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	ミスピリの防止や裏紙の活用を行いました。ミスピリの防止については職員それぞれが今後も継続的に注意していく必要があります。
	具体的内容	印刷前に必ず印刷プレビューで確認することによりミスピリを防止するとともに、積極的に裏紙を活用します。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

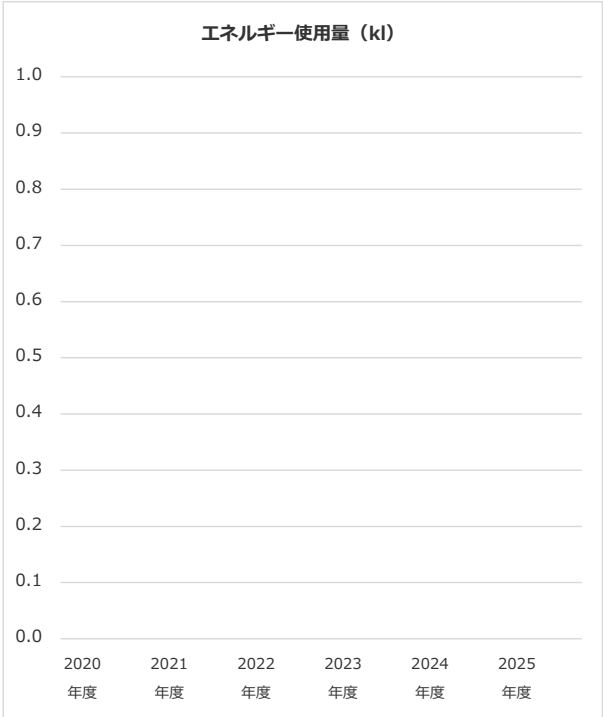
実績	前年度比	%	達成状況	(選択してください)
達成/未達成の理由				

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)						
エネルギー使用量(kl)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
対前年度比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1		計画	
		実績	
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月1日に実施。(課内全職員34名対象に書面開催) 5月24日に開催されたC-EMS研修会の内容について説明するとともに、当年度の重点取組項目および他の取組項目について説明し、当該取組への協力を依頼した。
法令遵守確認研修	■ 該当なし	
新任・異動者研修	■ 実施	4月1日付採用職員および転入職員に対しては6月1日に実施。10月1日付採用職員に対しては10月18日に実施。いずれもC-EMSの概要および当年度の重点取組項目および他の取組項目について説明し、当該取組への協力を依頼した。
	(選択してください)	

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和6年5月17日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
今年度については重点取組項目である「エネルギー使用量の削減」を中心に取り組み、執務室のOA機器の節電や退庁時の消灯を徹底しました。 また、ロゴチャットおよび電子メールの活用、会議資料の簡略化およびミスプリ防止を徹底することにより紙の使用量を削減し、「資源の有効利用」にも取り組みました。	取組目標に対し一定の効果は出ておりますが、引き続き、環境活動や取組目標に関する職員の意識向上を目指したいと考えております。